

目次・使い方	はじめに	CEOメッセージ	持続可能なモビリティ社会の実現に向けて	ブルーシズンシップ —日産のCSR—	ルノーと日産のアライアンス	CSRデータ集	第三者保証
環境	安全	社会貢献	品質	バリューチェーン	従業員	経済的貢献	コーポレートガバナンス・内部統制

CEOメッセージ



カルロス ゴーン
日産自動車株式会社 社長兼最高経営責任者 (CEO)

日産自動車は、持続可能なモビリティの新たな時代をリードしていることを誇りに思っています。そしてその過程における当社の目標は明快です。世界で最も持続可能な会社となることです。私たちはイノベーションをもたらすことに焦点を当て、誠意と透明性をもって行動することにより、長期的な成長の実現を目指しています。さらに、当社の技術開発力を生かし現在最も急務とされる社会・環境・安全における課題の解決に貢献したいと考えています。ゼロ・エミッション車「日産リーフ」から最先端の「セーフティ・シールド」の技術まで、当社が市場にお届けしてきた数々の画期的な提案は、ひとえに、世界をより良くしたいという私たちの想いに基づくものです。

2015年も本活動をさらに発展させ、「人々の生活を豊かに」という従来からの企業ビジョンに対する決意を新たにしました。パリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議 (COP21) で、採択された目標を支持することを表明しました。さらに、ルノー・日産アライアンスは同会議に、多数の電気自動車 (EV) を提供しました。会期中、アライアンスのEVは延べ17万5,000km以

“日産は今後も社会に価値をもたらすことを目指し、革新を続けていきます。ステークホルダーの皆さまと力を合わせてより良い世界をつくることに力を注いでまいります”

上走行し、EVの持つ利点を関係者の皆さまに享受いただきました。日産自動車はまた、国連総会で正式に採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」への賛同も表明しています。同目標には「持続可能な経済成長」「インフラ整備」「エネルギー問題の解決」が含まれます。加えて、国連が提唱する普遍的原則「国連グローバル・コンパクト」への参加も10年にわたり続けています。

当社は2010年に「日産リーフ」を発売し、EVのセグメントを開拓しましたが、その普及に向けて大きな前進を遂げました。これまでに「日産リーフ」は20万台を超える累計販売台数を達成し、世界で最も売れているEVとなりました。2016年モデルは、1回のチャージによる航続距離を20%以上伸ばし、280kmを実現しています。

EVの技術は引き続き当社の商品開発の中心に位置し、今後、ますます発展する自動運転技術のベースとなっています。当社は2020年までには、高速道路と市街地を安全に自動走行できる車を発売する予定です。向こう4年間で欧州、米国、日本、そして中国に、自動運転技術を搭載した複数の商品を順次投入していきます。自動運転技術は主要量販車に搭載し、手ごろな価格でご提供する計画です。その第一弾は今年、日本市場で発売予定です。

本報告書にもありますように、サステナビリティ課題の目標達成まではまだ道半ばですが、意義のある進歩を遂げています。当社は今後も社会に価値をもたらすことを目指し、革新を続けていきます。ステークホルダーの皆さまと力を合わせてより良い世界をつくることに力を注いでまいります。

カルロス ゴーン
日産自動車株式会社
社長兼最高経営責任者 (CEO)